

有識者意見の概要及び意見に対する対応

1. 調査研究課題名「旅館ブランドに関する調査研究」	
2. 有識者意見の概要及び対応 有識者：矢ヶ崎 紀子氏 東洋大学 国際地域学部 国際観光学科 准教授	
意見の概要	意見に対する対応
<ul style="list-style-type: none"> 日本人が外国人に旅館というものをどのように説明するかという問いに対して、今までは「旅館の使い方」の説明をしてきた。しかし、旅館とは一体何かということについては、上手に情報発信出来ていないのが現状である。旅館ブランドの構築は難しいテーマと考えられるが、そもそもアイデンティティが確立していなければ、ブランドは構築出来ない。まず旅館に共通するものは何かということを考える必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 旅館経営者、有識者等を交えて「旅館の魅力とは何か」について議論を行い、情報を整理した。 議論の結果を踏まえ、旅館の魅力に関する仮説を設定した。
<ul style="list-style-type: none"> 旅館を集めて「旅館の魅力とは何か」を検討するにあたり、まずはインバウンドに対して積極的に考えて取組んでいる旅館を対象として意見を伺うべきではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 全旅連青年部より、インバウンドに対して積極的な経営者を紹介頂き、議論の場を設けた。
<ul style="list-style-type: none"> アンケートは、リスト情報から類型化する時間がないと想定されるため、取れるだけアンケートをとり、後から分類を行う方が望ましいのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> アンケート調査の実施を優先し、中間で集計、関係者で共有を行い、分析軸等について検討を行った。